

Title	特集：マルクス：過去と現在：序
Sub Title	Marx : past and present : preface
Author	大西, 広(Ōnishi, Hiroshi)
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2019
Jtitle	三田学会雑誌 (Mita journal of economics). Vol.112, No.1 (2019. 4) ,p.1- 2
JaLC DOI	10.14991/001.20190401-0001
Abstract	
Notes	特集：マルクス：過去と現在
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20190401-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

特集：マルクス——過去と現在

大西 広*

マルクスの『資本論』第 1 巻初版が出版されてちょうど 150 年目の 2017 年には慶應義塾経済学会として『『資本論』数理化研究の新展開』というミニコンファレンスを開催したが、翌 2018 年もマルクス生誕 200 年ということで 9 月 6 日に記念コンファレンスを開催することができた。本特集の 5 本の論文と資料紹介はその際に報告されたものの一部である。この「マルクス生誕 200 周年記念事業」は、『資本論』第 1 巻初版 150 周年以上に大規模な記念事業が世界各地で開催されており、これに慶應義塾としても合流できたことを嬉しく思う。

特に、今回の記念事業に慶應義塾としての意義があったのは、慶應義塾図書館所蔵の『共産党宣言』初版ドイツ語版がアジアで唯一のものであることが確認され、かつその持つ特別の意義がコンファレンスの中で詳細に解明されたことである。これは『共産党宣言』初版本の研究者である橋本直樹鹿児島大学名誉教授が慶應義塾所蔵本についての詳細な研究をなされ、それに基づいた報告を行ってくださったからである。このため、図書館貴重書コーナーもミニコンファレンスの昼休み時間にこの所蔵本の特別展示をしてくださった。橋本教授と図書館貴重書コーナーのご協力にこの場を借りてお礼申し上げたい。

また、本ミニコンファレンスには台風で飛行機便の急なキャンセルがある中、非常な努力をして参加・報告くださった南開大学副教授喬曉楠の貢献も大きい。2017 年のミニコンファレンスでは韓国の数理マルクス学者に参加いただいたが、今回は中国の数理マルクス学者に参加いただくことができ、その全体を通じて日中韓の数理マルクス経済学の交流にも役立ったからである。南開大学は慶應義塾と交流協定を持つ大学でもあるので、この交流は大切にしたいものだと考える。

本ミニコンファレンスには、それ以外にも池田幸弘経済学部長や坂本達哉教授、飯田裕康名誉教授や北村洋基名誉教授の報告者や司会者などとしてのご協力も不可欠であった。報告者の中に安井俊一氏や洪井康弘名城大学教授といった慶應義塾出身者を加えることができたのはそうした先生方の協力があつたからである。

* 慶應義塾大学経済学部

ともかく、こうして、現状では考えられる限りの慶應義塾経済学部的な「マルクス生誕 200 周年記念事業」を開催することができたと考えている。小規模なコンファレンスではあったが、古典研究から信用論、技術論、数理マルクスといった分野をこうしてカバーすることができた。

なお、本ミニコンファレンスには慶應義塾経済学会から多大な資金援助をいただいている。記して感謝したい。

経済学会ミニコンファレンスプログラム

1. タイトル：マルクス——過去と現在
2. 日時：2018 年 9 月 6 日終日
3. 場所：慶應義塾大学三田キャンパス大学院棟 1F 313 教室
4. 挨拶：池田幸弘経済学部長
5. 報告者と報告タイトル
安井俊一（博士（経済学）慶應義塾大学） J. S. ミルの社会主義論とマルクス
橋本直樹（鹿児島大学名誉教授） 慶應図書館所蔵の『共産党宣言』初版について
飯田裕康（慶應義塾大学名誉教授） マルクス体系における擬制資本について
喬 暁楠（南開大学副教授） 中国における数理マルクス経済学
大西 広（慶應義塾大学教授） 限界原理を基礎とした労働価値説
洪井康弘（名城大学教授） 現代技術とマルクス経済学
6. 特別企画：図書館 1F にて慶應義塾図書館所蔵『共産党宣言』初版見学会を開催